

# 令和6年度当初予算要求額に関する調

企業庁

# 目 次

## I 企業庁の経営

- 1 企業庁事業実施地域…………… 3
- 2 令和6年度重要施策体系表…………… 5
- 3 企業庁の経営戦略 …………… 6

## II 産業用地、住宅用地の分譲推進

- 1 播磨科学公園都市……………12
- 2 潮芦屋……………17
- 3 神戸三田国際公園都市(カルチャータウン)……………18
- 4 淡路津名地区……………22
- 5 ひょうご情報公園都市 第2期……………24

## III 安全・安心な水道・工水の安定的供給

- 1 水道用水供給事業……………25
- 2 工業用水道事業……………29

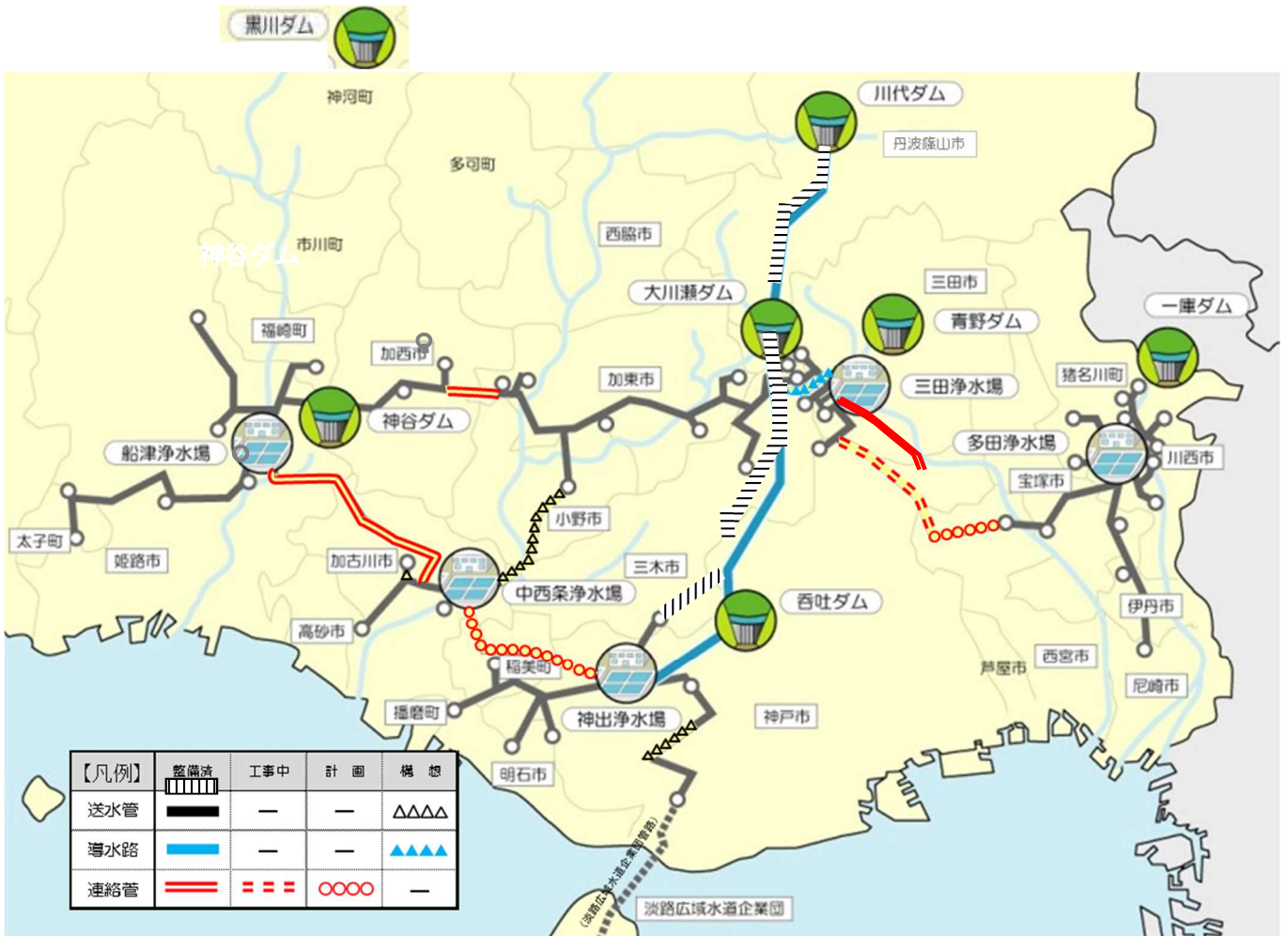
## IV 地域活力を創造する取組

- 1 淡路夢舞台……………30
- 2 青野運動公苑……………31
- 3 再生可能エネルギーへの取組 ……………32

## V 令和6年度当初予算要求額……………33



(2) 企業庁水道用水供給事業事業計画図

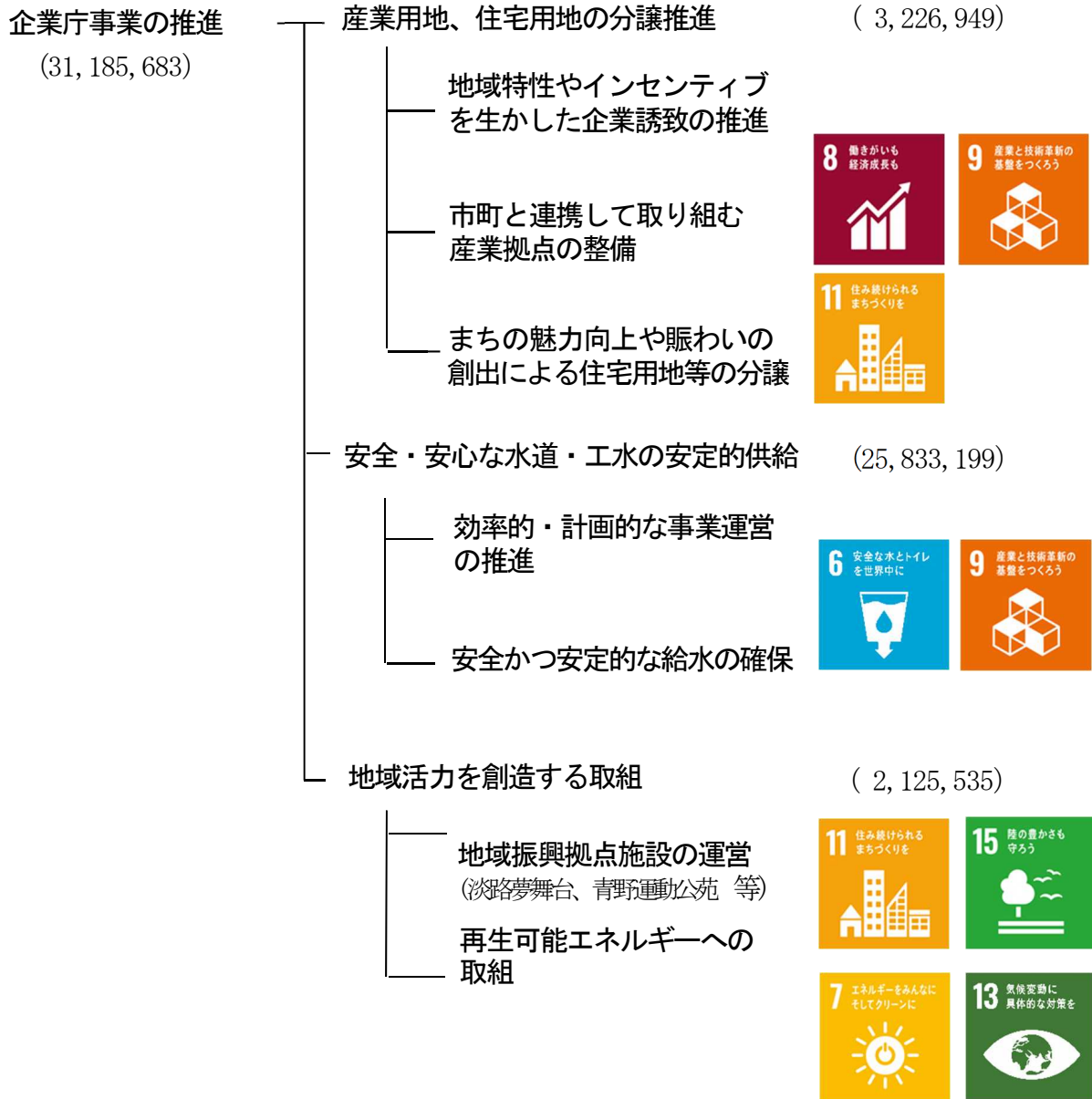


(3) 企業庁工業用水道事業給水区域概要図



## 2 令和6年度 企業庁重要施策体系表

(単位：千円)



### 兵庫県企業庁SDGs宣言 (2020年1月)

兵庫県企業庁は施策を通じてSDGs (持続可能な開発目標) の達成に貢献するとともに、地域の振興と県民福祉の向上を図ります。

水道・工業用水供給やまちづくり、メガソーラー発電等を推進する企業庁が、率先して、SDGsの達成に貢献することを宣言



### 3 企業庁の経営戦略

#### (1) 企業庁経営戦略の策定

健全経営の維持及び効果的・効率的な事業推進のため、概ね5年度ごとに策定してきた「企業庁総合経営計画（現行：令和元年度～令和5年度）」が今年度で終了することから、年度内に、10年を計画期間とする「兵庫県企業庁経営戦略（令和6年度～15年度）」を策定（「参考1」）

#### (2) 地域整備事業にかかる企業庁経営評価委員会での検討状況

県政改革審議会からの指摘、県の方針を踏まえ、企業庁経営評価委員会において、地域整備事業の将来的な収支見通しや課題等について評価・検証を行うとともに、今後の事業のあり方について検討。年度内を目途に委員会報告をとりまとめる。

なお、第3回委員会までの議論の状況を中間論点整理としてとりまとめ、12月に公表した（「参考2」）。

##### 【検討の経過】

回数	開催日	審議概要
第1回委員会	令和5年10月11日	・令和4年度企業庁事業の経営評価 ・企業庁経営戦略の策定 ・地域整備事業の概要
第2回委員会	令和5年11月2日	・地域整備事業の課題
第3回委員会	令和5年11月30日	・地域整備事業のあり方検討についての中間論点整理（案）
第4回委員会	令和5年12月21日	・兵庫県企業庁経営戦略（案） ・地域整備事業のあり方の検討

##### 【今後の予定】

回数	開催日	審議概要
第5回委員会	令和6年1月31日	・地域整備事業のあり方検討についての報告書（案） ・兵庫県企業庁経営戦略（案）
第6回委員会	令和6年3月27日	・兵庫県企業庁経営戦略（案）

【参考1】兵庫県企業庁経営戦略（概要版）（案）

兵庫県企業庁経営戦略【概要版】（案）

I 策定の趣旨

1 経緯

- 企業庁事業の健全経営の維持及び効果的・効率的な事業推進のため、平成16年度以降、おおむね5年ごとに策定してきた「企業庁総合経営計画」について、現行計画（令和元年度～令和5年度）が今年度で終了
- また総務省からは、各公営企業が策定する経営戦略について、令和7年度までに、経営環境の変化に応じた経営基盤の強化・財政マネジメントの向上を図るための見直しを要請

今年度中に  
「兵庫県企業庁経営戦略」を策定

※「企業庁総合経営計画」から改称  
※「ひょうご県営水道経営戦略」  
(計画期間：令和元年度～令和10年度)を統合

2 位置付け

- 令和4年1月の総務省通知（「経営戦略」の改定推進について）に基づき、将来にわたって安定的に事業を継続していくための**中長期的な経営の基本計画として策定**
- 県政の基本方針である「ひょうごビジョン2050」、「兵庫県 県政改革方針」等を踏まえながら、**企業庁の行う5事業**（水道用水供給事業、工業用水道事業、地域整備事業、地域創生整備事業、企業資産運用事業）の**取組方針・主な取り組み等を示したもの**

4 進捗管理・改定

- 毎年度の進捗管理と定期的な改定**（3～5年ごと）を実施
- 社会経済情勢等により**経営の見通しに大きな変化が生じた場合は、別途改定を検討**
- 特に**地域整備事業については、事業のあり方を引き続き検討の上、改定を実施。**

3 計画期間 ○令和6年度～令和15年度

II 経営の基本方針

- 1 健全経営の維持 収益の向上と費用の抑制、保有資産の有効活用、事業の選択と集中を図り、**自立・安定した健全経営を維持する。**
- 2 関係部局、市町、民間事業者、NPO等との適切な役割分担と連携 関係部局・市町・民間事業者等と連携し、**効果的・効率的に事業を展開する。**
- 3 事業を支える人材の育成・確保 水道をはじめ各業務に必要な専門知識やノウハウ、技術等の継承等による**人材の育成・確保**を図る。

III 各事業の取組方針・主な取り組み等

水道用水供給事業

取組方針	主な取り組み
①健全経営の維持	○水需要量の確保 ○計画的な投資
②収入の確保	○長期責任水量制の採用 ○県営水道への転換… <b>受水団体</b> に対し転換を促進
③適正料金の設定	○アセットマネジメント推進計画の策定（～令和30年度） ○建設改良積立金…更新費用の財源確保 ○水道料金の設定…概ね4年ごとの料金設定 ○管理経費の削減・抑制… <b>民間委託</b> 等を実施
④危機管理体制の確保	○事故訓練の実施 ○管路の耐震性向上 ○老朽化施設の計画的更新
⑤水道法改正を踏まえた取組	○ <b>広域連携</b> の推進… <b>広域漏水探知技術の共同導入</b> ○適切な資産管理 ○ <b>官民連携</b> の推進

数値目標の設定

- 企業債残高
- 最大給水量
- 給水原価
- 給水支障件数

投資・財政計画

○現行水量維持の場合、R12・R13において収益が落ち込むが、それ以外の年度では安定して黒字経営が行える見込み。

(単位：億円)

区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
収益的収支	収入	145	145	145	145	145	144	144	144	144
	支出	141	139	137	139	134	140	144	144	143
	当期損益	4	6	7	6	11	4	1	1	2
資本的収支	収入	18	18	26	30	25	7	7	7	7
	支出	82	67	87	103	75	63	60	66	80
	差引	△ 64	△ 49	△ 61	△ 73	△ 50	△ 56	△ 54	△ 59	△ 73
企業債残高	134	121	112	106	100	90	83	78	74	76
資金残高	179	193	200	196	217	223	229	232	225	239

## 工業用水道事業

取組方針	主な取り組み	数値目標の設定	投資・財政計画																																																																																																			
①経営健全化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○料金収入の確保…受水量増の取り組み</li> <li>○費用の抑制</li> <li>…アセットマネジメント推進計画の推進（～令和30年度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大給水量</li> <li>企業債残高</li> <li>給水原価</li> </ul>	<p>○アセットマネジメント推進計画に基づく施設の更新・修繕に伴いR12から企業債を新規発行する見込み。 ○R6からR15にかけて当年度損益は黒字を確保。</p> <p>(単位：億円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>R12</th> <th>R13</th> <th>R14</th> <th>R15</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">収益的収支</td> <td>収入</td> <td>38</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>38</td> <td>38</td> <td>38</td> <td>38</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>33</td> <td>34</td> <td>33</td> <td>31</td> <td>30</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>36</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>当期損益</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0.4</td> <td><b>0.2</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">資本的収支</td> <td>収入</td> <td>10</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>10</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>19</td> <td>21</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>28</td> <td>19</td> <td>16</td> <td>13</td> <td>25</td> <td>53</td> <td>69</td> <td>68</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>△18</td> <td>△19</td> <td>△16</td> <td>△3</td> <td>△25</td> <td>△53</td> <td>△50</td> <td>△47</td> <td>△48</td> <td>△21</td> </tr> <tr> <td colspan="2">企業債残高</td> <td>33</td> <td>24</td> <td>16</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>19</td> <td>40</td> <td>66</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td colspan="2">資金残高</td> <td>95</td> <td>98</td> <td>103</td> <td>121</td> <td>119</td> <td>91</td> <td>67</td> <td>46</td> <td>24</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	収益的収支	収入	38	39	39	39	38	38	38	38	38	支出	33	34	33	31	30	32	34	36	37	当期損益	4	6	6	7	8	6	4	2	0.4	<b>0.2</b>	資本的収支	収入	10	0.0	0.0	10	0.0	0.0	19	21	26	支出	28	19	16	13	25	53	69	68	74	差引	△18	△19	△16	△3	△25	△53	△50	△47	△48	△21	企業債残高		33	24	16	9	1	1	19	40	66	83	資金残高		95	98	103	121	119	91	67	46	24	26
区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15																																																																																												
収益的収支	収入	38	39	39	39	38	38	38	38	38																																																																																												
	支出	33	34	33	31	30	32	34	36	37																																																																																												
	当期損益	4	6	6	7	8	6	4	2	0.4	<b>0.2</b>																																																																																											
資本的収支	収入	10	0.0	0.0	10	0.0	0.0	19	21	26																																																																																												
	支出	28	19	16	13	25	53	69	68	74																																																																																												
	差引	△18	△19	△16	△3	△25	△53	△50	△47	△48	△21																																																																																											
企業債残高		33	24	16	9	1	1	19	40	66	83																																																																																											
資金残高		95	98	103	121	119	91	67	46	24	26																																																																																											
②危機管理対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事故訓練の実施</li> <li>○管路の耐震性向上</li> <li>○老朽化施設の計画的更新</li> </ul>	給水支障件数																																																																																																				

## 地域創生整備事業

取組方針	主な取り組み	数値目標の設定	投資・財政計画																																																																																																		
①経営健全化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適正な規模による事業実施…新規発行債の抑制</li> <li>○採算性の考慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業債残高</li> <li>経常収支比率 [情報公園2期] [三宮東再開発] [鈴蘭台西]</li> </ul>	<p>○R10以降、三宮東再開発ビルの貸付料収入が見込まれること、小野産業団地企業債利息支払いが終了することから、R15には当年度損益の黒字を確保できる見通し。</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>R12</th> <th>R13</th> <th>R14</th> <th>R15</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">収益的収支</td> <td>収入</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>52</td> <td>52</td> <td>52</td> <td>52</td> <td>59</td> <td>59</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>当期損益</td> <td>△51</td> <td>△51</td> <td>△51</td> <td>△51</td> <td>△36</td> <td>△36</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td><b>14</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">資本的収支</td> <td>収入</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>254</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>2,386</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>170</td> <td>516</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>△2,386</td> <td>△50</td> <td>△50</td> <td>△170</td> <td>△262</td> <td>△50</td> <td>△50</td> <td>△50</td> <td>△50</td> <td>△50</td> </tr> <tr> <td colspan="2">企業債残高</td> <td>586</td> <td>586</td> <td>586</td> <td>466</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">資金残高</td> <td>1,738</td> <td>1,637</td> <td>1,536</td> <td>1,315</td> <td>1,016</td> <td>930</td> <td>894</td> <td>858</td> <td>822</td> <td>786</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	収益的収支	収入	1	1	1	1	23	23	23	23	23	支出	52	52	52	52	59	59	9	9	9	当期損益	△51	△51	△51	△51	△36	△36	14	14	14	<b>14</b>	資本的収支	収入	0.0	0.0	0.0	0.0	254	0.0	0.0	0.0	0.0	支出	2,386	50	50	170	516	50	50	50	50	差引	△2,386	△50	△50	△170	△262	△50	△50	△50	△50	△50	企業債残高		586	586	586	466	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	資金残高		1,738	1,637	1,536	1,315	1,016	930	894	858	822	786
区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15																																																																																											
収益的収支	収入	1	1	1	1	23	23	23	23	23																																																																																											
	支出	52	52	52	52	59	59	9	9	9																																																																																											
	当期損益	△51	△51	△51	△51	△36	△36	14	14	14	<b>14</b>																																																																																										
資本的収支	収入	0.0	0.0	0.0	0.0	254	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																											
	支出	2,386	50	50	170	516	50	50	50	50																																																																																											
	差引	△2,386	△50	△50	△170	△262	△50	△50	△50	△50	△50																																																																																										
企業債残高		586	586	586	466	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																											
資金残高		1,738	1,637	1,536	1,315	1,016	930	894	858	822	786																																																																																										

## 企業資産運用事業

取組方針	主な取り組み	数値目標の設定	投資・財政計画																																																																																																		
①適切な維持管理による売電収入の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画的なメンテナンス</li> <li>…耐用年数20年間の安定的発電性能の確保</li> </ul>	目標なし	<p>○定期的なメンテナンスにより、発電効率を維持し、売電収入を確保することで、R15損益は約1億円の黒字を確保。</p> <p>(単位：億円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>R12</th> <th>R13</th> <th>R14</th> <th>R15</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">収益的収支</td> <td>収入</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>当期損益</td> <td>0.5</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td><b>1</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">資本的収支</td> <td>収入</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>△1</td> <td>△1</td> <td>△1</td> <td>△1</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">企業債残高</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">資金残高</td> <td>40</td> <td>47</td> <td>54</td> <td>61</td> <td>67</td> <td>72</td> <td>76</td> <td>81</td> <td>85</td> <td>88</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	収益的収支	収入	12	12	12	12	12	12	12	12	12	支出	12	12	12	12	12	12	12	12	12	当期損益	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	<b>1</b>	資本的収支	収入	2	2	2	2	2	0.0	0.0	0.0	0.0	支出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	差引	2	2	2	2	2	△1	△1	△1	△1	△1	企業債残高		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	資金残高		40	47	54	61	67	72	76	81	85	88
区分	R6			R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15																																																																																									
収益的収支	収入	12	12	12	12	12	12	12	12	12																																																																																											
	支出	12	12	12	12	12	12	12	12	12																																																																																											
	当期損益	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	<b>1</b>																																																																																										
資本的収支	収入	2	2	2	2	2	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																											
	支出	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																											
	差引	2	2	2	2	2	△1	△1	△1	△1	△1																																																																																										
企業債残高		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																											
資金残高		40	47	54	61	67	72	76	81	85	88																																																																																										
②FIT認定期間終了後の対応検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関西電力株式会社との連携協定の締結</li> <li>…包括連携協定を締結しFIT後対応を検討</li> </ul>																																																																																																				



## 地域整備事業

取組方針	主な取り組み
①既開発地区の分譲推進	○分譲計画 …市町との連携や民間活力の積極的な活用 …ポストコロナ社会に対応した宅地分譲
②地域整備事業のあり方に係る検討	○経営評価委員会での検討

### 数値目標の設定

- 分譲進捗率
- 企業債残高
- 資金残高
- 経常収支比率

### 投資・財政計画

○分譲可能な土地が少なくなっており、今後土地売却収益が減少する見通しであることから、令和7年度以降当期損益は赤字となる見通し。

(単位: 億円)

区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
収益的収支	収入	26	20	9	9	10	9	13	9	8	21
	支出	22	23	13	13	13	13	16	13	13	25
	当期損益	4	△3	△3	△3	△3	△3	△3	△3	△4	△4.3
資本的収支	収入	0.3	91	82	26	112	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
	支出	75	149	194	53	276	101	84	85	64	109
	差引	△74.7	△57.9	△111.8	△27.4	△164.4	△101.1	△84.1	△85.1	△64.1	△109.1
企業債残高	707	670	575	568	421	338	272	205	157	65	
資金残高	30	-	-	-	△108	△205	△281	△362	△424	△517	

※資金残高は、一般会計との貸借関係をR5～10年度に合計190億円を整理したと仮定

### 【課題】今後の収支見通し

- 令和5年度以降、令和20年度までの間に償還が必要となる**企業債残高は768億円となり、将来キャッシュフローに懸念がある。**
- 今後、企業債の償還スケジュール等を念頭に置き、資金ショートを回避するためのあらゆる選択肢を模索する必要がある。

#### 地域整備事業会計 企業債の償還スケジュール等

##### ◎企業債償還スケジュール

地区	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	合計
港戸屋	0	4,250	2,500	7,800	0	1,700	3,000	0	0	0	500	0	0	0	0	0	19,750
岸線跡地	0	0	0	0	0	446	790	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,236
神戸三田国際分譲都市	532	219	1,158	1,888	0	2,983	2,516	0	1,300	1,095	0	0	0	0	0	0	11,511
播磨科学公園都市	421	421	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,042
ひょうご情報公園都市	0	0	0	0	740	9,581	2,000	6,600	5,456	3,614	8,700	0	2,500	1,439	842	1,986	43,218
合計	953	5,100	3,658	9,688	740	14,670	8,306	6,600	6,756	4,709	9,200	0	2,500	1,439	842	1,986	76,789

※借債償還の実際進捗

##### ◎長期未収金回収スケジュール

相手先	R4残高	年度別回収額																			R20残高
		R5(※1)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20				
兵庫県(一般会計)	10,427	159	146	146	147	147	148	148	149	149	150	150	151	151	152	152	154	3,018			
西宮市	750		183	187	191	195	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
三田市	51	11	26	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
播磨高梁広域事務組合(※2)	2,844	421	50	311	75	78	81	84	87	90	94	97	101	105	109	113	946				
合計	14,078	186	786	385	651	419	226	229	233	236	240	244	246	252	257	261	267	8,964			

※1: R5年度回収分のうち、ワンyearルールによりその期末未収金(流動資産)に返却済のものは高く。  
 ※2: 播磨高梁広域事務組合が平成24年度末に発生した未収金については、播磨高梁広域事務組合等から播磨高梁広域事務組合の償還(2,700万円)を、播磨高梁広域事務組合が計画人口に達するまで償還するよう要請あり。

##### ◎長期貸付金・長期借入金(一般会計)の返済スケジュール

長期貸付金(265億円: 全て一般会計)、長期借入金(320億円: 全て一般会計)ともに、償還計画年次は調整中。  
 ※短期貸付金(20億円: 一般会計10億円、県道路公債10億円)はR5年度に償還予定。

### 【取り組み】地域整備事業のあり方に係る検討

- 今後、約15年にわたり企業債償還が本格化し、財源の確保が大きな課題となっていることから、**経営の安定化に係る議論を含めた地域整備事業のあり方について、外部の委員により構成する「企業庁経営評価委員会」において検討を進める。**

委員会	開催日	審議概要
第1回委員会	令和5年 10月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度企業庁事業の経営評価</li> <li>・企業庁経営戦略の策定</li> <li>・地域整備事業の概要</li> </ul>
第2回委員会	令和5年 11月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域整備事業の課題</li> </ul>
第3回委員会	令和5年 11月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域整備事業のあり方検討 についての中間論点整理(案)</li> </ul>
第4回委員会	令和5年 12月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県企業庁経営戦略(案)</li> <li>・地域整備事業のあり方検討</li> </ul>
第5回委員会 (予定)	令和6年 1月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域整備事業のあり方検討 についての年度報告(案)</li> </ul>
第6回委員会 (予定)	令和6年 3月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県企業庁経営戦略(案)</li> </ul>

## 【参考2】企業庁経営評価委員会地域整備事業のあり方検討についての中間論点整理（概要版）

今後企業債償還が本格化する地域整備事業について、財源の確保が大きな課題となっているなか、企業庁経営評価委員会では、県政改革審議会の指摘や県の方針を踏まえ、事業のあり方の検討を進めており、このたび、委員の意見を整理し、中間論点整理としてとりまとめた。

【検討の視点】 ■オープンな議論と正しい情報の発信 ■客観的な評価・検証 ■未来志向での抜本的な検討

### 地域整備事業の成果

- 本県経済の基盤となる臨海部工業地帯の創出
- 先端科学技術基盤づくりへの貢献
- 高速道路周辺地域の乱開発等の防止と県土の均衡ある発展への貢献
- 震災からの復旧と創造的復興への貢献
- 全国でも屈指の観光・交流拠点の創出 等

### 主な論点

#### 1 地域整備事業会計の財政状況

- 単年度決算は黒字基調で推移してきたが、令和4年度の現金収支は約40億円のマイナスであり、**将来キャッシュフローに懸念**
- 貸借対照表(参考3)には**実態に即した資産計上が必要**
- 将来収益を得られる可能性が極めて低い資産があるなど、**債務超過状態の可能性が高く、将来の事業継続は疑問**

#### 2 今後の収支見通し

- 令和20年度までに768億円の企業債償還が必要であるが、**未対策の場合、令和7年度に資金が底をつく厳しい状況**
- 資金ショートを回避するための**あらゆる選択肢の模索が必要**
- 楽観的な見通しは排除し、**最も厳しいシナリオによる償還計画の策定が必要**

#### 3 これまでの議論・取組の評価

- 今回の問題は新しいものではないが、これまで、正しい情報を**わかりやすく公開し、県民と共有する部分が不十分**
- 困難な状況の打開に向けたこれまでの努力は理解するものの、**抜本的検討・本格的対策が行われず**
- 公益性の重視や、著しい価格変動の中での土地の購入・維持等、**事業の持つ構造や経緯の理解が必要**
- 将来世代にツケを残さず、**未来志向で検討が必要**

### 今後の検討に向けて（今後議論を深めるべき論点）

#### 1 経営の安定化に向けて早急に講じるべき対策

##### <早急にとるべき対策>

- 迫る資金ショート回避に向け、最も厳しいシナリオによる**企業債償還計画の策定と早急な着手**
- 歴史的な経緯も踏まえ、**県全体の視点による最善策の検討が重要**

##### ○具体的な対策

- ・事業の合理化、保有資産の活用・処分
- ・一般会計との貸借関係の整理（時期も含む）について早急な検討
- ・進度調整地の処理方針について多様な視点による議論の着手

##### <進度調整地の処理>

- 活用等の方策
  - ・民間への売却
  - ・地域の活性化につながる事業化
  - ・環境林化

- 過去の経緯等から、**環境林化も1つの方策**
- トータルで県民の負担を減じる視点が重要**であり、県全体での議論が必要

##### <事業の合理化・資産の活用・処分>

- 採算性の悪い事業や緊急性の低い事業を早急に見極め、**収束も含めた見直し、資金流出の防止が必要**
- 企業庁だけでなく、**県全体の問題としてとらえるべき**

#### 2 事業の今後のあり方

- 各事業は、直接的収益以外に、**外部効果も含め大きな役割**
- 一方で、**公益的側面への傾向が、厳しい経営状況や県全体の負担を招来**
- 人口増・右肩上がりの経済成長を前提とした事業のあり方を見直すべき**
- 次世代につけを残さないことを念頭に、**事業のあり方につき抜本的検討を**

【参考3】地域整備事業会計の貸借対照表（令和4年度決算時）

（単位：億円）

資産の部		負債・資本の部	
流動資産 126	現預金 98	流動負債 21	企業債(R5償還) 10 <small>・神戸三田国際公園都市 5 ・播磨科学公園都市 5</small>
	未収金 8		未払金、預り金等 11
	短期貸付金(R5回収) ・一般会計への貸付金 10 ・県道路公社債 10 20	固定負債 1,092	<今後売却予定の土地> ◎R5年度売却予定 9 ◎R6年度以降売却予定 27
未成事業資産（分譲中の土地）29ha ・阪神地域 住宅(神戸三田国際公園都市) ・播磨地域 産業・住宅用地(播磨科学公園都市) ・淡路地域 産業用地(淡路津名地区) 37	企業債(R6以降償還) ・ひょうご情報公園都市 432 ・潮芦屋 198 ・神戸三田国際公園都市 110 ・尼崎臨海 13 ・播磨科学公園都市 5 758		
未成事業資産（貸付中の土地等）140ha ・阪神地域 定借地（潮芦屋、神戸三田国際公園都市）、 人博(神戸三田国際公園都市) 等 205 ・播磨地域 定借地（播磨科学公園都市）、 水産技術C(二見) 等 ・淡路地域 貸付地（淡路津名地区) 等 合計:20			
未成事業資産（進捗調整地）1,379ha ・播磨科学公園都市 765ha 70 ※活用方向が未定であり、客観 ・矢野・小犬丸 399ha 88 的な分譲地としての時価の算定 ・ひょうご情報公園都市 215ha 350 が困難であることから、原価法 による簿価額としている。 508			
固定資産 650	長期未収金 141 ・佐野運動公園(一般会計) 104 ・播磨高原事務組合(播磨科学公園都市小中学校分) 28 等	繰延収益 1	借入金 320 ・一般会計からの借入金（北摂特会）
	長期貸付金（R6以降回収） 265 ・一般会計への貸付金 財源対策202、その他(湾岸側道整備、高度化資金) 63		引当金（修繕、退職、賞与） 14
	投資有価証券 88 ・理化学研究所 73、(株)北摂コミュニティ開発センター 15 等		長期前受金 1
	有形固定資産 156 ・夢舞台 91、播磨科学公園都市施設 35、ONOKORO 26 等		負債の部 合計 1,114
資産の部 合計 1,526		純資産 412	純資産 412
		資本の部 合計 412	
		負債・資本の部 合計 1,526	

## II 産業用地、住宅用地の分譲推進

### 1 播磨科学公園都市

#### 【分譲状況】

(R5. 11月末時点)

用途	分譲計画 (ha)	分譲の状況	
		累計 (ha)	分譲済率
産業	83	79	95%
住宅	28	19	68%
業務	126	101	80%
合計	237	199	84%

#### (1) 産業用地の分譲推進 (P15 現況図参照)

##### ① 地域特性を生かした企業誘致活動の展開

###### (主な地域特性)

- ア 世界的な先端科学技術基盤(SPring-8、SACLA等)の集積
- イ 立地企業の研究開発・人材育成等をサポートする産学公連携 (JASRI、兵庫県立大学等)
- ウ 地盤が強固であること等防災面における安全性の高さ
- エ 中国自動車道と山陽自動車道の双方へのアクセスが可能 (播磨自動車道が中国自動車道に接続)
- オ 高速通信ネットワーク基盤(ひょうご情報ハイウェイ)の無償利用が可能

##### ② インセンティブの活用

SPring-8等先端科学技術基盤が集積する播磨科学公園都市の特性や企業ニーズに応じた企業誘致を図るため、各種インセンティブ制度の活用を通じて分譲を推進

#### 【企業庁独自のインセンティブ】

地区別	区分	制度名	内容
共通	割引	地域創生割引制度	県外から本社機能を移転する企業等に土地分譲価格を20%割引
	補助	地質等調査費助成制度	立地検討企業等のボーリング調査費用を助成 [最大500万円]
播磨科学公園都市	割引	研究開発型企业立地促進割引制度	SPring-8等を活用する研究開発型企业等に土地分譲価格を20%割引(割引併用は10%)
	補助	立地企業研究開発支援助成制度	SPring-8等の機器使用料の1/2を助成 [最大1,000万円、立地後10年間]
	特別価格	中小企業支援ゾーン制度	県内中小企業に特別価格で分譲

#### 【参考】令和5年度分譲状況

【C-13】分譲申込受付済 (2.0ha) (都市内立地企業の事業拡大による移転)

※その他、分譲済み企業において、工場・倉庫等の増築(産業用地)や、都市内住宅用地での社員寮(約80名)の建設の動きがあり、都市内立地企業が都市の活性化に貢献している。

## (2) 住宅用地の分譲推進 (P15 現況図参照)

テレワーク実施者や若年世帯を呼び込むための各種インセンティブ制度の活用や、住宅メーカーとの連携により分譲を推進

### 【企業庁独自の住宅分譲のインセンティブ】

制度名	内容	助成上限額等
多世代近住支援制度 ※他制度との併用不可	ア 親族(3親等内)が2区画を購入 イ 1～5期の現居住者の親族(3親等内)が購入	分譲価格を半額
テレワーク応援住宅割引 ※他制度との併用不可	在宅勤務制度導入の事業所等に勤務等	分譲価格を400万円割引
若年世帯新居購入支援制度 ※他制度との併用不可(奨励金除く)	ア 結婚後10年以内 イ 中学校入学前の子を扶養	分譲価格を400万円割引
若年世帯新居購入奨励金	ア 結婚後10年以内 イ 中学校入学前の子を扶養	150万円 (居住開始時100万円、 出産時50万円)
太陽光発電システム整備助成	太陽光発電システムの設置工事費用助成	150万円
安全で快適な家づくり助成	フラット35Sの技術基準適合住宅(ZEH住宅含む)又は県産木材の使用基準を満たす住宅等	100万円

【参考】令和5年度 分譲状況 2戸

### (3) 魅力あるまちづくり

#### ① 都市のにぎわいの創出

##### ア てくてくマーケット

都市のPRや担い手育成、にぎわいづくりを進めるため、地域団体等と連携して、地元農家で採れた新鮮野菜やハンドメイドの定期市や、キッチンカーによる出店、フリマ、子ども向けの企画を実施。

開催日：毎月第1土曜日

主 催：企業庁

来場者：約3,500人（R5.4～12月累計）



##### イ 西播磨フロンティア祭 2023

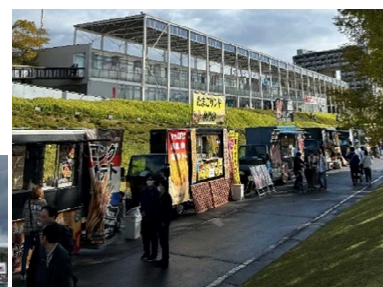
2025年の大阪・関西万博に向けて機運醸成を図るとともに、都市のにぎわい創出のため、4年ぶりに開催。

SPring-8 施設見学ツアーをはじめ、次世代技術の展示・体験（空飛ぶクルマ、水素自動車、ドローン）、キッチンカーの誘致や都市の住宅販売促進を実施。

開催日：令和5年10月21日（土）

主 催：西播磨県民局

来場者：約16,000人



##### ウ 光都夏祭り

光都のよさを伝えふるさとを盛り上げようと、地元住民や県立大学生をはじめ多くの人々が協力して、盆踊りや手持ち花火大会、屋台など多彩な催しを4年ぶりに開催。

開催日：令和5年8月19日（土）

主 催：光都ふるさとプロジェクト

（構成：住民と地元企業で働く人、学生等の有志）

来場者：約1,000人



#### ② バスターミナルの活用促進

都市中心部の芝生広場に、バスターミナルを整備（令和3年4月供用開始）し、JR各駅に連絡する路線バスやコミバス等が乗り入れ。

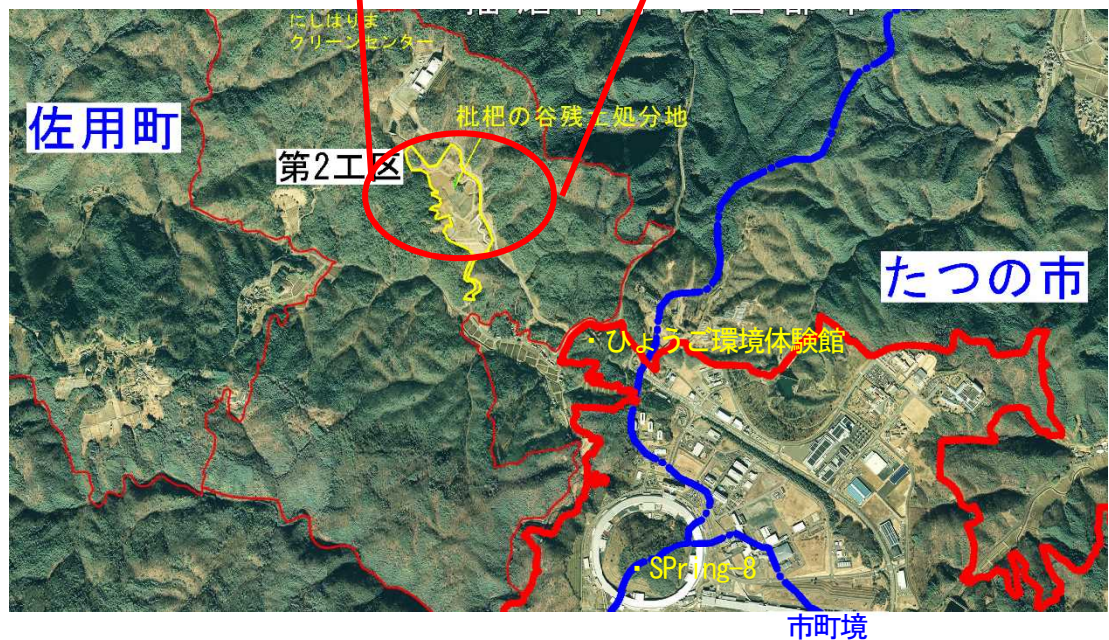
バスターミナルに隣接したコミュニティスペース（令和3年11月供用開始）において既存イベントと連携し、にぎわいを創出。



#### (4) 新たな産業用地の確保

##### ・第2工区枇杷の谷の開発検討

播磨科学公園都市第2工区の枇杷の谷は、平成21年台風第9号災害復旧事業及び播磨自動車道の建設残土を受け入れて造成を行った。これにより平地が約5ha創出されており、分譲用地として有効活用するため、事業採算性なども含めて開発検討を行う。





## 2 潮芦屋

【分譲状況】

(R5. 11月末時点)

用途	分譲計画 (ha)	分譲の状況	
		累計 (ha)	分譲済率
住宅	32	32	100%
業務	60	60	100%
合計	92	92	100%

### (1) 商業・利便施設用地の分譲推進（下現況図参照）

事業用定期借地期限満了（R 6. 3月、12月）を迎えるマリナーゾーン及びセンターゾーン I 期の利活用、分譲手法について検討するなど分譲に向けた取組を推進

- ① マリナーゾーン（約1.9ha）はR6. 3月下旬土地譲渡契約締結
- ② センターゾーン I 期南ブロック（約0.8ha）の分譲

【事業提案競技スケジュール】

- ・ R5. 11. 28 第1回審査委員会
- ・ R5. 12. 4 募集要項の公開
- ・ R6. 2月中旬 第2回審査委員会
- ・ R6. 2月下旬 事業予定者の公表
- ・ R6. 3月下旬 土地譲渡契約締結

### (2) 災害に強いまちづくりの推進

平成30年台風第21号による高潮被害に対する土木部管理護岸の対策に合わせ、企業庁管理の護岸嵩上げ工事等の防災対策を推進

潮芦屋 現況図（令和5年11月末時点）



### 3 神戸三田国際公園都市（カルチャータウン）

#### 【分譲状況】

(R5.11月末時点)

用途	分譲計画 (ha)	分譲の状況	
		累計 (ha)	分譲済率
住宅	31	29	94%
業務	63	62	99%
合計	94	91	97%

#### (1) 住宅用地の分譲推進（P21 現況図参照）

緑豊かな街並み、住環境に応じた各種インセンティブの活用や住宅メーカーとの連携強化により分譲を推進

#### 【企業庁独自のインセンティブ】

制度名	内容	助成上限額等
若年世帯新居購入支援制度 ※他制度との併用不可	ア 結婚後10年以内 イ 中学校入学前の子を扶養	分譲価格を 400万円割引
太陽光発電システム整備助成	太陽光発電システムの設置工事費用助成	150万円
ガーデニング等整備助成 ※安全で快適な家づくり助成との併用不可	植栽、菜園等の工事費用助成	100万円
安全で快適な家づくり助成 ※ガーデニング等整備助成との併用不可	フラット35Sの技術基準適合住宅(ZEH住宅含む)	100万円
計		最大400万円

#### 【参考】分譲状況（ワシントン村）

都市近郊の自然豊かな住環境の良さが改めて注目され、分譲が好調

令和4年度 26戸分譲済

令和5年度 3戸分譲済、3区画申込中

※兵庫村は、令和3年度までに完売（207戸）

## (2) 神戸三田国際公園都市の地域振興に係る連携協力協定に基づく取組

県、三田市、関西学院大学との間で「神戸三田国際公園都市の地域振興に係る連携協力協定」締結（令和3年6月28日付）

### ① 連携事項

- ア カルチャータウン地区の活性化または交流の拡大
- イ 産学官民の連携促進、起業家支援
- ウ 若年層の定住促進、地域に貢献する人材育成
- エ ニュータウンの都市再生

### ② 企業庁関係事業

企業庁保有のカルチャータウン地区センター南ブロック用地 1.8haを関西学院大学に譲渡（令和4年2月契約締結）

大学が神戸三田キャンパスインキュベーション施設・学生寮複合施設（地域交流機能含む）を整備

※複合施設の概要：インキュベーション施設（約1000㎡）、学生寮（300室：約9000㎡）、商業施設〔フィットネス〕（約600㎡）等

### 【整備スケジュール】

- R 4. 6. 30 複合施設整備・運営事業者公募による優先交渉権者決定
- R 4. 10. 9 複合施設建設に関する住民説明会
- R 4. 10月～ 基本設計の策定等
- R 5. 7月 工事概要に関する住民説明会
- R 5. 11月～ 建設工事着工
- R 7. 4月 施設の供用開始

## (3) カルチャータウン地区センター商業施設（トラハス）の事業展開

### ① 企業庁保有の商業施設（984.13㎡）に求める機能

- ア 物販事業・飲食事業の運営
- イ 地域の生活利便性の向上
- ウ まちのにぎわいづくりの創出（地域イベントへの協力・支援等）
- エ 近隣施設と連携し相乗効果を発揮

### ② 事業内容

令和5年9月に物販エリアを拡張し、リニューアルオープン、同月23日開催の交流イベント「学園マルシェ」にも協力し、まちの賑わいに貢献、レストランについてはテナント誘致に全力を注いでおり、開設するまではキッチンカー等と呼ば、交流スペースとして開放

(4) **フラワータウンセンター地区における公民連携に関する覚書に基づく取組**  
県、三田市、(株)北摂コミュニティ開発センターとの間で「北摂三田フラワータウンセンター地区における公民連携に関する覚書」締結（令和5年3月31日付）

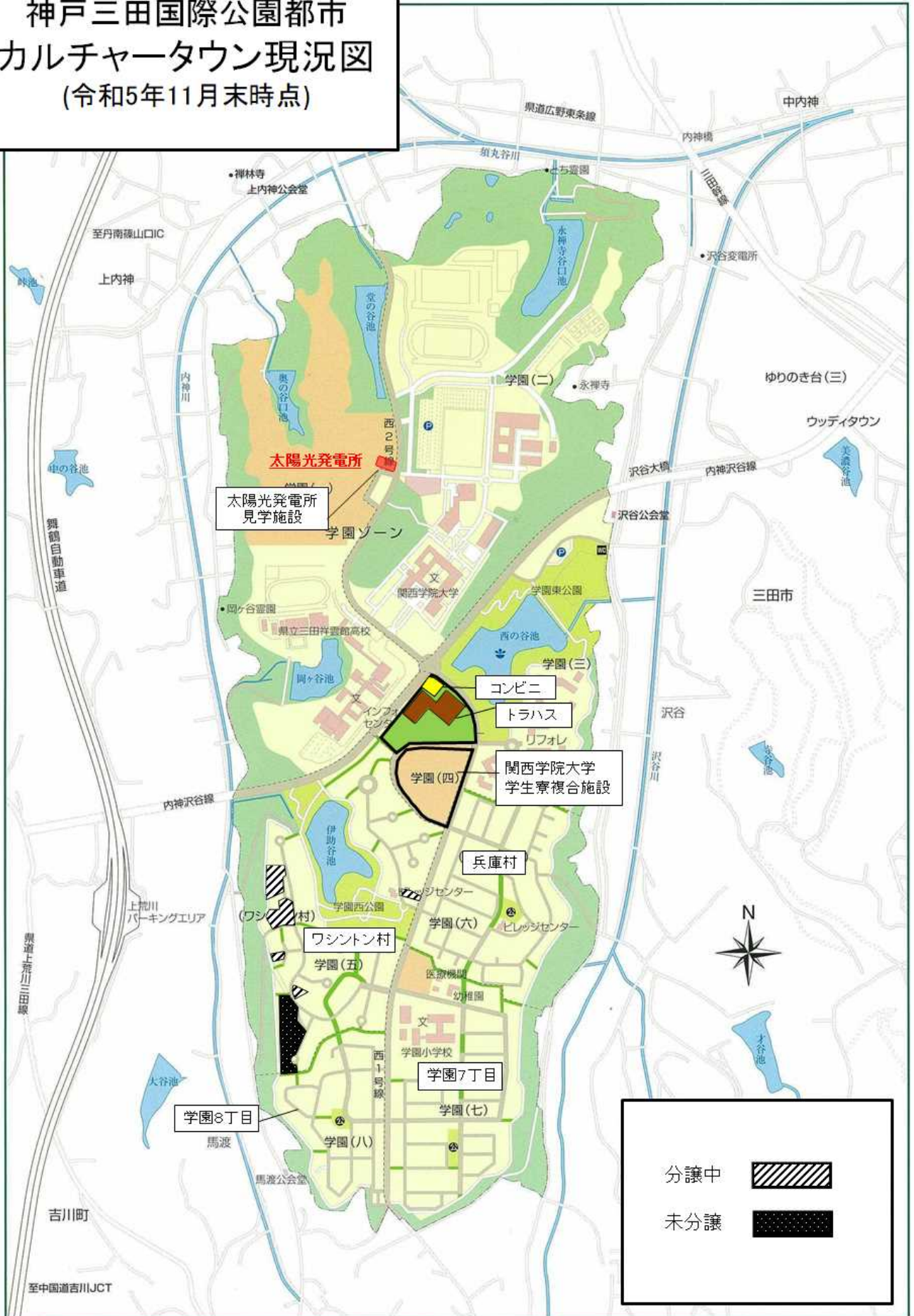
① **協力事項**

- ア まちの再生、活性化または交流の拡大に関する事項
- イ 若年層・子育て層の定住促進に関する事項
- ウ まちづくり人材の育成に関する事項
- エ センター地区の土地利用活用に関する事項
- オ その他三者がまちづくりに必要と認める事項

② **企業庁関連事業**

企業庁保有の人と自然の博物館と隣接する商業跡地（約1ha）の活用方策について、まちの再生の活性化、若年層・子育て層の定住促進につながるよう、三田市が主体となるフラワータウン再生ビジョンにおいて合意形成が図られ、令和8年まで暫定的に(株)北摂コミュニティ開発センターが当該用地を借り受け、整備運営

# 神戸三田国際公園都市 カルチャータウン現況図 (令和5年11月末時点)



## 4 淡路津名地区

### 【分譲状況】

(R5. 11月末時点)

用途	分譲計画 (ha)	分譲の状況	
		累計 (ha)	分譲済率
産業	146	122	84%
業務	5	5	100%
合計	151	127	84%

### (1) 産業用地の分譲推進 (P23 現況図参照)

#### ① 地域特性を生かした企業誘致活動の展開

(主な地域特性)

- ア あわじ環境未来島構想の推進
- イ 公共岸壁を備えた大規模用地
- ウ 高速通信ネットワーク基盤(ひょうご情報ハイウェイ)の無償利用が可能

#### ② インセンティブの活用

あわじ環境未来島構想や企業ニーズ等に応じた企業誘致を図るため、各種インセンティブ制度の活用を通じて分譲を推進

### 【企業庁独自のインセンティブ】

地区別	区分	制度名	内容
共通	割引	地域創生割引制度	県外から本社機能を移転する企業等に土地分譲価格を20%割引
	補助	地質等調査費助成制度	立地検討企業等のボーリング調査費用を助成 [最大500万円]
淡路津名地区	割引	あわじ環境未来島構想支援割引制度	省エネ、地域ブランド発展、生活向上関連企業等に土地分譲価格を20%割引(割引併用は10%)
	補助	淡路津名地区公共岸壁等使用料助成制度	津名港岸壁及び埠頭の使用料の1/2を助成 [最大1,000万円、立地後10年間]

### 【参考】令和4年度 分譲実績

生穂地区 【B-5】 食品加工企業 ((有)とうげ) と令和4年9月契約締結 (0.4ha)

【B-1】 食品製造企業 (淡路麺業株) と令和5年3月契約締結 (1.0ha)

【B-4a】 分譲申込受付済 (2.7ha)

佐野地区 【A-3】 食品製造企業 (日仏商事株) と令和5年3月契約締結 (0.5ha)

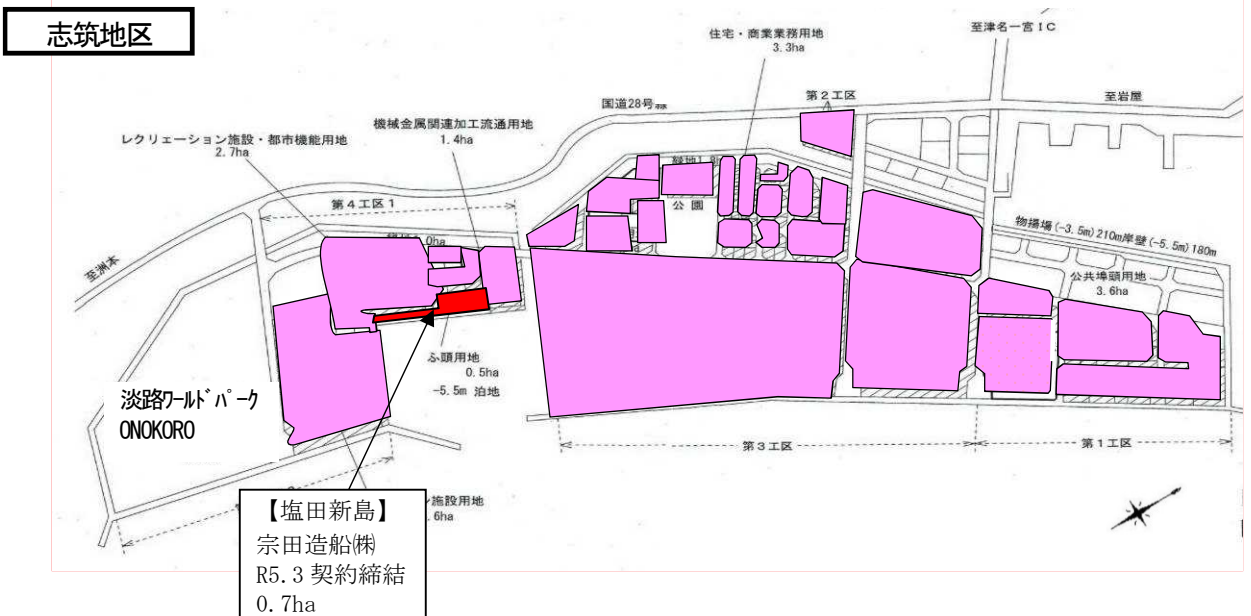
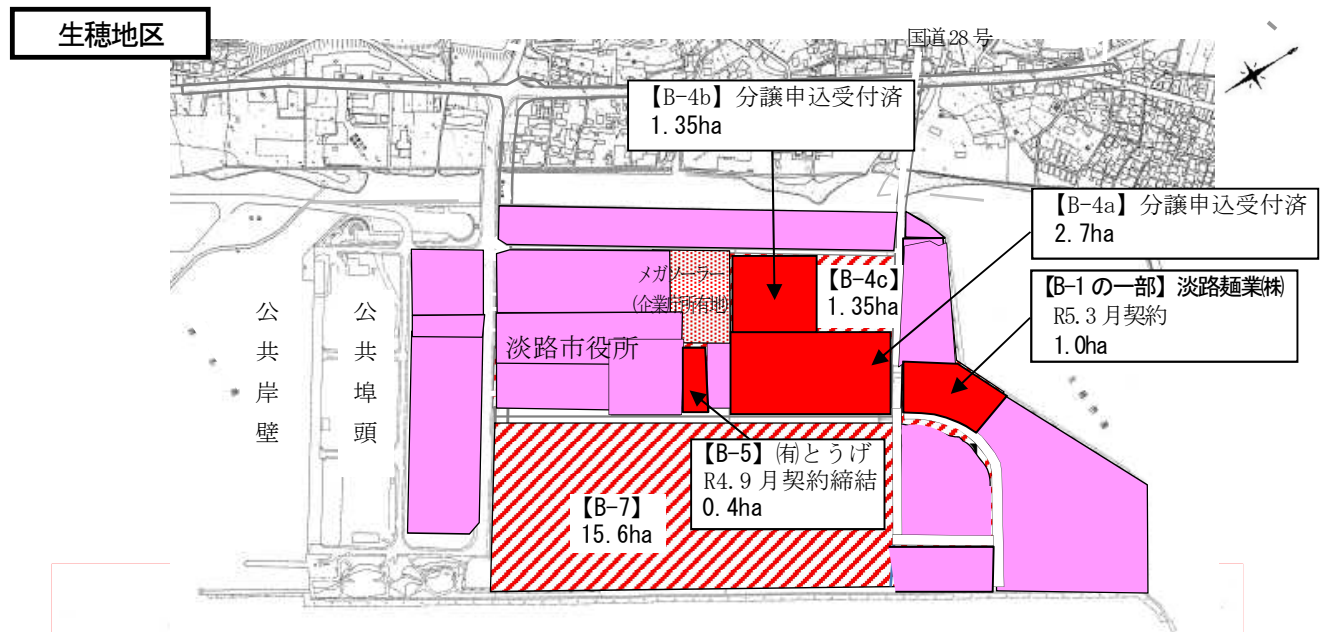
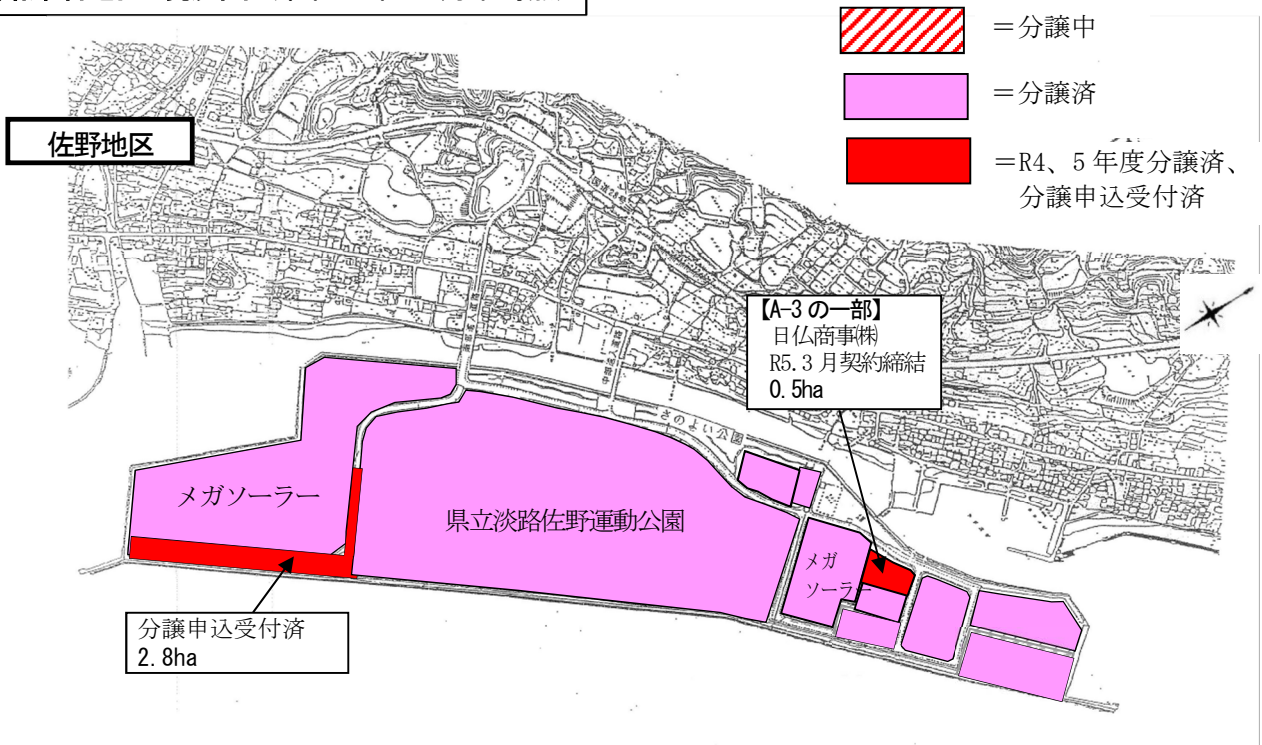
【ガリテ東】 分譲申込受付済 (2.8ha)

志筑地区 【塩田新島】 造船・海上運送事業 (宗田造船株) と令和5年3月契約締結 (0.7ha)

### 令和5年度 分譲状況

生穂地区 【B-4b】 分譲申込受付済 (1.35ha)

淡路津名地区 現況図 (令和5年11月末時点)



## 5 ひょうご情報公園都市 第2期

ひょうご情報公園都市の未開発区域内で、三木市と共同で新たな産業団地を整備

- ・ 全体開発面積 約100ha
- ・ 令和3年度 三木市と基本合意書締結
- ・ 令和3～4年度 基本設計
- ・ 令和5年度 企業等へのサウンディング調査

※経営評価委員会で取りまとめられる地域整備事業に関するあり方検討の結果を踏まえ、令和6年度に、地元市など関係者の意見も丁寧に聞きながら、検討を進める。





### Ⅲ 安全・安心な水道・工水の安定的供給

#### 1 水道用水供給事業

##### (1) 事業概要

一庫、吞吐、大川瀬、川代、青野、神谷及び黒川の7ダムを水源とし、多田、神出、三田、中西条、船津の5浄水場から22市町1企業団（25市町）に水道用水の供給を行い、各家庭への供給は各市町等水道事業が行っている。

計画給水量 (R6年度) (m <sup>3</sup> /日)	申込予定水量 (R6年度)		平均供給 単価	給水開始年
	(m <sup>3</sup> /日)	(m <sup>3</sup> /年)		
480,400	428,140	10,939万	118円/m <sup>3</sup>	S54年～



【多田浄水場】



【安全・安心な水の提供（フィッシュモニター）】

##### (2) 水道料金の改定（適用期間：令和6～9年度）

###### ① 基本的な考え方

###### ア 健全経営の維持

給水量の維持・増量、減価償却費及び企業債利息の減並びに電気代等のランニングコストの増嵩を踏まえ、次期料金算定期間中の総括原価を回収。併せて、将来の県営水道施設の計画的な更新・耐震化に必要な財源（建設改良積立金）を確保

※建設改良積立金については目標額（150億円）を令和5年度で達成できる見込みであるため、今後の積み立ては一時的に圧縮する。

###### ② 水道料金改定内容

現行料金から平均供給単価で2円引き下げ、118円/m<sup>3</sup>とする。

区 分		現行 A	次期 B	差 B-A	
基本 料金	計画給水量 ※1	3,200円	2,800円	△400円	ダム等水源施設の固定費
	申込水量 ※2	14,800円	12,400円	△2,400円	浄水場等水源以外の施設の固定費
使用料金		48円	57円	9円	動力費、薬品費等の変動費
平均供給単価		120円	118円	△2円	受水市町等23団体の平均単価

料金収入：(2,800円/m<sup>3</sup>×計画給水量(480,400m<sup>3</sup>)) + (12,400円/m<sup>3</sup>×申込水量(428,140m<sup>3</sup>)) + (57円/m<sup>3</sup>×使用水量(109,390千m<sup>3</sup>)) = 118円/m<sup>3</sup>×使用水量(109,390千m<sup>3</sup>)

※1 計画給水量：1日の最大給水量の事業計画値（兵庫県営水道は480,400m<sup>3</sup>/日）

※2 申込水量：企業庁との給水協定に基づき、受水団体が申し込む1日最大受水量

###### 平均供給単価の推移（二部料金制導入後）

年度	H12～19	H20～22	H23～27	H28～R1	R2～R5	R6～
単価(m <sup>3</sup> )	155円	152円	132円	127円	120円	118円

### (3) 水道事業広域連携の推進

兵庫県水道事業広域連携等推進会議及び県下8ブロックの地域別協議会等で協議し、水道事業の広域連携を推進

(ハード対策)

- ・市町の枠を越えた施設の統合、管路の相互接続等の水平連携
- ・市町の自己水源から県営水道への転換による垂直連携

(ソフト対策)

- ・資材の共同発注等

#### 【具体の連携推進】

- ・令和6年度に広域連携の全県的取組として、人工衛星画像を活用した広域漏水探知技術について、県が一括で委託契約を行うことにより複数事業体での共同導入を予定しており、企業庁は技術的助言により支援
- ・令和4年度から明石市が阪神水道企業団からの新規受水（令和7年度）及び県営水道の増量（令和6年度）のための管路整備等を実施中
- ・令和4年度までに県下3ブロック（北播磨・中播磨・但馬）内で水道メーターや資材の共同購入・水質検査の共同委託を実施済
- ・令和6年度も引続きハード・ソフト対策の更なる具体化を図るとともに、不足する技術、事務の専門職員への対策として必要に応じて各種講習会等を開催する予定

## 【参考】

## 県水申込水量・県水依存率一覧

団体名	令和6年度			(参考) 県水依存率 (R3実績)
	計画給水量 m <sup>3</sup> /日	申込予定水量 m <sup>3</sup> /日	受水率	
神戸市	28,360	28,360	100.0%	3.9%
尼崎市	4,280	1,400	32.7%	0.7%
西宮市	18,530	17,140	92.5%	8.1%
伊丹市	14,870	4,800	32.3%	5.2%
宝塚市	25,550	25,550	100.0%	24.9%
川西市	35,270	35,270	100.0%	59.4%
三田市	37,670	37,670	100.0%	80.9%
猪名川町	12,200	10,600	86.9%	91.1%
明石市	47,650	47,650	100.0%	30.1%
加古川市	41,900	41,900	100.0%	39.1%
高砂市	12,910	5,000	38.7%	10.3%
稲美町	1,980	1,300	65.7%	10.4%
播磨町	2,010	1,800	89.6%	12.1%
西脇市	7,600	6,000	78.9%	35.9%
三木市	20,200	17,600	87.1%	44.3%
小野市	13,670	9,900	72.4%	35.0%
加西市	15,600	15,600	100.0%	66.3%
加東市	11,700	11,700	100.0%	55.2%
姫路市	84,900	77,750	91.6%	32.2%
福崎町	2,740	800	29.2%	8.1%
太子町	2,930	2,000	68.3%	13.5%
丹波篠山市	10,700	10,700	100.0%	54.7%
淡路広域水道企業団	27,180	17,650	64.9%	23.7%
合計	480,400	428,140	89.1%	18.7%

#### (4) 水道施設の健全維持

長期にわたり施設を健全な状態で維持するため、「アセットマネジメント推進計画」に基づき、定期的な施設の点検・診断・修繕を行いながら、適正な水道施設の維持更新を推進

##### 【アセットマネジメント推進計画の概要】

計画期間	2009 (H21) 年度～2048 (R30) 年度	
計画内容	① 施設を「管路施設」「電気設備」「機械設備」「土木施設」「建築施設」の5つに区分 ② 施設の劣化度の評価、重要度や既往の知見等に基づく使用目標年数の設定 ③ 事業収支を考慮した更新時期の平準化 ④ 計画の継続的な推進とフォローアップ	
対象施設	管路施設	延長：約260km 口径：φ150～φ2,000mm
	電気・機械設備	受変電設備、監視制御設備、ポンプ設備、薬品注入設備等
	土木・建築施設	沈砂池、浄水池、管理本館等
対象施設の 使用 目標年数	管路施設	ダクティル管 60年～100年、鋼管 70年
	電気・機械設備	電気設備 9年～43年、機械設備 15年～40年
費用総額	40年間で約2,000億円	

#### (5) 管路施設の強靱化対策（災害に強い管路整備）

##### ① 管路更新実施計画策定（水道・工水）

アセットマネジメント推進計画に基づく管路更新等を、より現実的かつ効果的に実践するために、近年の漏水傾向、管路の重要度<sup>※1)</sup>、事故時の危険度<sup>※2)</sup>等の詳細点検・評価を実施。昨今の経済情勢、経営収支等を踏まえた上で、優先して取り組むべき今後5カ年程度の管路更新及び困難なものについては、監視・点検等の強化方を策定

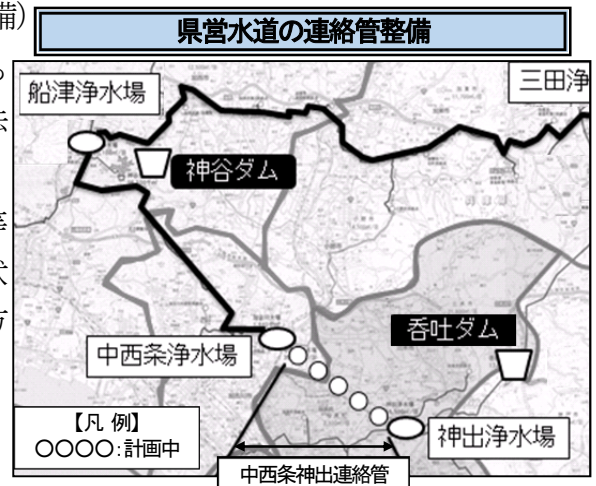
※1) 崩落すると断水エリアが大きい水管橋など、迂回送水ルートの無いもの

※2) 高速道路上の水管橋や鉄道沿線に埋設された管路など、事故発生時の人的・社会的影響度が非常に大きなもの

##### ② 緊急時のバックアップ施設の整備（連絡管の整備）

中西条神出連絡管については、令和4年度に行った関係市町の将来水需要予測等をもとに、活用方法再検討。

既存管路更新との連携などによりルート、管径等の見直し、コスト削減を検討した上で経済、経営状況等を考慮し、他の管路強靱化対策と併せて実施方法を検討。



## 2 工業用水道事業

### (1) 事業概要

揖保川、市川、加古川を水源とする揖保川第1工業用水道、揖保川第2工業用水道、市川工業用水道及び加古川工業用水道により、姫路市、加古川市、明石市、高砂市、播磨町及び太子町にまたがる播磨工業地帯に工業用水を供給

(R5.4.1 現在)

事業名	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)	給水 料金 (円/m <sup>3</sup> )	給水事業所 〔給水区域〕	給水 開始	備考
揖保川第1	257,880	4.30	3事業所 〔姫路市〕	S13～	
揖保川第2	75,800	14.30	16事業所 〔姫路市、太子町〕	S46～	
市川	113,026	15.00	19事業所 〔姫路市〕	S39～	
加古川	198,770	25.00	64事業所 〔加古川市、明石市、高砂市、播磨町〕	S41～	給水能力 500,000m <sup>3</sup> /日
合計	645,476	13.50	102事業所 〔6市町〕	—	

注：給水料金の合計は、各事業の加重平均(R3年度実績)で算出した。

### (2) 工水施設の健全維持

長期にわたり施設を健全な状態で維持するため、「アセットマネジメント推進計画」に基づき、定期的な施設の点検・診断・修繕を行いながら、適正な工水施設の維持更新を推進

#### 【アセットマネジメント推進計画の概要】

計画期間	2009(H21)年度～2048(R30)年度	
計画内容	① 施設を「管路施設」「電気設備」「機械設備」「土木施設」「建築施設」の5つに区分 ② 施設の劣化度の評価、重要度や既往の知見等に基づく使用目標年数の設定 ③ 事業収支を考慮した更新時期の平準化 ④ 計画の継続的な推進とフォローアップ	
対象施設	管路施設	延長：約150km 口径：φ75～φ2,000mm
	電気・機械設備	受変電設備、監視制御設備、ポンプ設備等
	土木・建築施設	沈砂池、管理本館等
対象施設の 使用 目標年数	管路施設	ダクタイル管 60年～100年、鋼管 70年
	電気・機械設備	電気設備 9年～43年、機械設備 15年～40年
	土木・建築施設	土木施設 70～100年、建築施設 60～80年
費用総額	40年間で約1,100億円	

## IV 地域活力を創造する取組

### 1 淡路夢舞台

土砂採取跡地に自然環境の回復と緑豊かな景観を創造するとともに、人と自然と文化が交流する「淡路島国際公園都市」の中核施設として整備

(株)夢舞台による、ホテル、国際会議場、温室等の施設群の一体的な管理運営により、北淡路地域の振興を推進

#### 【夢舞台主要施設の概要】

施設名称	管理運営	施設所管部局	備考
グランドニッコー淡路	(株)夢舞台	企業庁	貸付
展望テラス内レストラン		産業労働部	指定管理
国際会議場		まちづくり部	指定管理
百段苑、展望テラス、灘山緑地			
温室(あわじグリーン館)			
ハイウェイオアシス		土木部	指定管理
交流の翼港			

〔(株)夢舞台・・・資本金：約15億円(うち県企業庁出資率：82.9%)〕

#### ① 集客力・収益力の向上

- ア 繁忙期における客室単価の向上や、翼港を活用したクルージングプランなどの高付加価値商品の販売等、サービスに応じた価格の設定
- イ オークラニッコーホテル会員プログラムとの連携によるインバウンド・プロモーションの展開
- ウ 島内で実施される多様なひょうごフィールドパビリオン各プログラムと連携した宿泊プランの造成による新規顧客・リピーターの確保
- エ 大阪・関西万博時に開催されるMICEへの積極的な誘致活動

#### ② 淡路夢舞台等を活用した自動運転の実証実験

2025年の大阪・関西万博開催期間中、淡路夢舞台、国営明石海峡公園や交流の翼港において、国営明石海峡公園事務所、(株)夢舞台と連携して、企業庁、群馬大学、日本モビリティ(株)が共同研究を行い、自動運転車両によるレベル4実証運行を実施し、万博来訪者を淡路夢舞台に呼び込む人の流れを創り出す。

##### 【令和6年度の取組予定】


- ・レベル4対応車両での実証実験
- ・実証実験に必要なセンサー類の設置調整
- ・ODD(システム作動の前提となる走行環境条件)許可手続



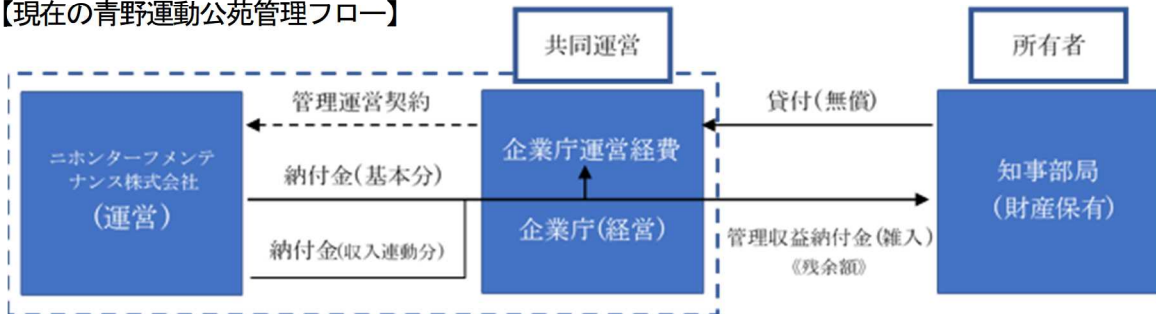
走行車両イメージ

- ※レベル2：部分運転自動化(搭乗型：運転手あり/遠隔型：保安員は搭乗するが、運転は遠隔操作)
- レベル3：条件付運転自動化(運転手(保安員)は搭乗するが、運転はシステムで操作)
- レベル4：高度運転自動化(運転手搭乗なし、運転は全てシステムで操作)

## 2 青野運動公苑

県民のスポーツニーズに応え、北播磨の地域振興に寄与するため、ゴルフコース、テニスコート、スポーツホテル、グラウンド・ゴルフ場を有する  青野運動公苑を運営

【現在の青野運動公苑管理フロー】



### ① 集客力・収益力の向上

- ア (ゴルフ) インターネット予約サイトの充実、需給に応じた柔軟な料金設定による収益性向上
- イ (テニス・ホテル) 学生テニス合宿の誘致、ファミリー客優待プランの充実

### 3 再生可能エネルギーへの取組

#### (1) メガソーラープロジェクト

再生可能エネルギー拡大への貢献、保有資産の有効活用のため、大型太陽光発電施設全12箇所を運営

##### 【太陽光発電導入状況】

地 区	設置面積	発電出力	発電開始	R5売電収益見込
①網干沖地区	1.5ha	1,180kW	H25.11～	57百万円
②三田カルチャータウン	8.6ha	6,530kW	H26.3～	292百万円
③養老ポンプ場	0.8ha	550kW	H26.6～	24百万円
④権現ダム堤体法面	1.9ha	1,760kW	H26.11～	84百万円
⑤神谷ダム土取場	1.7ha	1,780kW	H26.11～	77百万円
⑥中西条地区	1.7ha	1,590kW	H26.11～	68百万円
⑦播磨科学公園都市(住宅用地)	6.0ha	5,000kW	H26.12～	202百万円
⑧佐野地区	2.5ha	2,000kW	H27.1～	96百万円
⑨播磨科学公園都市(産業用地)	2.2ha	2,000kW	H27.2～	85百万円
⑩播磨科学公園都市(都市運営用地)	0.7ha	610kW	H27.2～	22百万円
⑪神谷ダム堤体法面	3.2ha	4,990kW	H28.2～	226百万円
⑫平荘ダム堤体法面	1.6ha	1,610kW	H28.2～	75百万円
計	32.4ha	29,600kW		1,308百万円



【三田カルチャータウン】



【権現ダム堤体法面】

#### (2) 小水力発電の推進

再生可能エネルギー拡大に貢献するため、既存ダムの高低差を有効活用した小水力発電施設全5箇所を運営

##### 【企業庁関係の発電所】

施設名称	発電出力	稼働年次	備考
①神谷ダム小水力	393kW	R2.4～	企業庁単独施設、自家消費
②一庫ダム小水力	1,900kW	S58～	水資源機構との共同施設、自家消費及び余剰分売電
③吞吐ダム小水力	275kW	H28.4～	農林水産省との共同施設、全量売電
④大川瀬ダム小水力	199kW	H28.4～	農林水産省との共同施設、全量売電
⑤生野ダム小水力	497kW	H30.4～	県土木部との共同施設、自家消費及び余剰分売電
計	3,264kW		



## V 令和6年度当初予算要求額

### 令和6年度予算要求額一覽表

(単位：千円)

事業名	令和5年度 当初予算額	予算区分	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳			備 考
				国庫支出金	特 定 財 源	起 債	
兵庫県水道用水 供給事業	21,411,014	収益の支出	15,363,232	0	15,363,232	0	
		資本の支出	7,503,942	374,800	6,777,142	352,000	
		計	22,867,174	374,800	22,140,374	352,000	
兵庫県工業用水道 事業	5,609,107	収益の支出	3,537,003	0	3,537,003	0	
		資本の支出	2,808,762	0	2,808,762	0	
		計	6,345,765	0	6,345,765	0	
兵庫県水源開発 事業	60,727	収益の支出	—	—	—	—	
		資本の支出	57,557	0	57,557	0	
		計	57,557	0	57,557	0	
兵庫県地域整備 事業	5,611,452	収益の支出	2,504,102	38,500	2,465,602	0	
		資本の支出	7,485,552	0	7,485,552	0	
		計	9,989,654	38,500	9,951,154	0	
兵庫県企業資産 運用事業	1,341,082	収益の支出	1,313,640	0	1,313,640	0	
		資本の支出	50,059	0	50,059	0	
		計	1,363,699	0	1,363,699	0	
兵庫県地域創生 整備事業	855,878	収益の支出	52,494	0	52,494	0	
		資本の支出	2,273,566	0	2,273,566	0	
		計	2,326,060	0	2,326,060	0	
合 計	34,889,260	収益の支出	22,770,471	38,500	22,731,971	0	
		資本の支出	20,179,438	374,800	19,452,638	352,000	
		計	42,949,909	413,300	42,184,609	352,000	

令和6年度兵庫県水道用水供給事業会計予算原案

(収益的收入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和5年度当初予算額	令和6年度予算予定額	概 要 説 明
(款) 水道用水供給事業収益	15,820,873	15,828,120	I 業務の予定量
(項) 営業収益	14,561,312	14,593,117	1 給水団体数 22市町・1企業団
営業外収益	1,259,551	1,234,993	2 年間給水量 109,390千m <sup>3</sup>
特別利益	10	10	3 1日平均給水量 300千m <sup>3</sup>
(款) 水道用水供給事業費用	14,805,962	15,363,232	II 予算の主なもの [収 入]
(項) 営業費用	13,989,044	14,562,733	1 営業収益 水道用水供給収益 14,178,200
営業外費用	766,908	750,489	2 営業外収益 長期前受金戻入 1,230,533
特別損失	10	10	[支 出]
予備費	50,000	50,000	1 営業費用 減価償却費 6,181,792
差 引	(755,995) 1,014,911	(279,863) 464,888	減価償却費 2,170,544 委託料 1,761,333 動力費 1,451,507 2 営業外費用 企業債利息 245,489

( )は税抜予定損益額を記載した。

(資本的收入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和5年度当初予算額	令和6年度予算予定額	概 要 説 明
(款) 資本的收入	423,122	3,078,820	I 業務の予定量
(項) 企業債	118,200	352,000	1 広域水道建設工事 1,201,000
国庫補助金	169,251	374,800	2 施設改良工事 1,956,687
出資金	118,251	352,000	II 予算の主なもの [収 入]
投資及び出資金返還金	0	2,000,000	1 企業債 ろ過池設備整備工事(神出)等 352,000
固定資産売却代金	10	10	2 国庫補助金 ろ過池設備整備工事(神出)等 374,800
諸収入	17,410	10	3 出資金 ろ過池設備整備工事(神出)等 352,000
(款) 資本的支出	6,605,052	7,503,942	[支 出]
(項) 建設改良費	4,046,162	3,205,820	1 建設改良費 (広域水道建設費) ろ過池設備整備工事(神出) 1,201,000
企業債償還金	2,453,586	2,232,734	(施設改良費) 猪名川幹線管路更新工事 300,000
国庫補助金返還金	55,304	15,388	稲美・播磨支線老朽管更新工事 222,700
投資及び出資金	0	2,000,000	香寺幹線送水管更新工事 240,000
予備費	50,000	50,000	2 企業債償還金 2,232,734
差 引	△6,181,930	△ 4,425,122	3 国庫補助金返還金 消費税確定に伴う精算 15,388

資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金等で補填する。

合 計	△ 5,167,019	△ 3,960,234	
-----	-------------	-------------	--

## 令和6年度兵庫県工業用水道事業会計予算原案

(収益的収入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和5年度当初予算額	令和6年度予算予定額	概 要 説 明
(款)工業用水道事業収益	4,102,955	4,135,500	I 業務の予定量 1 給水事業所数 103事業所 2 年間総給水量 243,634千m <sup>3</sup> 3 一日平均給水量 688千m <sup>3</sup>  II 予算の主なもの [収 入] 1 営業収益 給水収益 3,623,428 2 営業外収益 長期前受金戻入 447,017  [支 出] 1 営業費用 減価償却費 1,667,540 委託料 459,215 修繕費 220,035 2 営業外費用 企業債利息 13,513 消費税等 163,589
(項)営業収益	3,652,294	3,686,329	
営業外収益	450,651	449,161	
特別利益	10	10	
(款)工業用水道事業費用	3,426,808	3,537,003	
(項)営業費用	3,250,181	3,339,751	
営業外費用	156,597	177,222	
特別損失	30	30	
予備費	20,000	20,000	
差 引	(596,222) 676,147	(550,354) 598,497	

( )は税抜予定損益額を記載した。

(資本的収入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和5年度当初予算額	令和6年度予算予定額	概 要 説 明
(款)資本的収入	20	1,000,020	I 業務の予定量 1 施設改良工事 739,380  II 予算の主なもの  [支 出] 1 建設改良費 網干大橋東詰交差点東側送水管路更新(掛保2) 100,000 取水施設改修工事(市川) 275,000 2 企業債償還金 853,873 3 他会計からの長期借入金償還金 資産会計からの借入金の償還 205,302
(項)投資及び出資金返還金	0	1,000,000	
諸収入	10	10	
固定資産売却代金	10	10	
(款)資本的支出	2,182,299	2,808,762	
(項)建設改良費	1,089,145	739,587	
企業債償還金	877,852	853,873	
投資及び出資金	0	1,000,000	
他会計からの長期借入金償還金	205,302	205,302	
予備費	10,000	10,000	
差 引	△ 2,182,279	△ 1,808,742	

資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金等で補填する。

合 計	△ 1,506,132	△ 1,210,245	
-----	-------------	-------------	--

令和6年度兵庫県水源開発事業会計予算原案

(資本的収入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和5年度当初予算額	令和6年度予算予定額	概 要 説 明
(款)資本的収入	60,727	57,557	I 業務の予定量
(項)一般会計補助金	60,727	57,557	西脇地域水源開発事業費 57,557
(款)資本的支出	60,727	57,557	II 予算の主なもの
(項)建設改良費	60,727	57,557	[収 入] 1 一般会計補助金 57,557
			[支 出] 1 建設改良費 糶屋ダム管理費 57,557
差 引	0	0	

令和6年度兵庫県地域整備事業会計予算原案

(収益的収入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和5年度当初予算額	令和6年度予算予定額	概 要 説 明
(款) 地域整備事業収益	3,357,627	2,824,905	I 業務の予定量 土地売却面積 4ha ・阪神地域 1ha ・播磨地域 1ha ・淡路地域 2ha  II 予算の主なもの [取 入] 1 営業収益 土地売却収益 1,449,893  2 営業外収益 割賦売却利息等 188,594  [支 出] 1 営業費用 土地売却原価 1,283,129
(項) 営業収益	2,287,488	2,636,301	
営業外収益	117,339	188,594	
特別利益	952,800	10	
(款) 地域整備事業費用	2,951,286	2,504,102	
(項) 営業費用	1,948,376	2,453,982	
営業外費用	110	110	
特別損失	952,800	10	
予備費	50,000	50,000	
差 引	(396,366) 406,341	(318,574) 320,803	

( )は税抜予定損益額を記載した。

(資本的収入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和5年度当初予算額	令和6年度予算予定額	概 要 説 明
(款) 資本的収入	44,498	30,120	I 業務の予定量 1 阪神地域整備事業 1,012,894 2 播磨地域整備事業 1,065,305 3 淡路地域整備事業 254,553  II 予算の主なもの [支 出] 1 地域整備費 (阪神地域) 潮芦屋リアン護岸嵩上げ工事 136,000 2 企業債償還金 5,102,800
(項) 企業債	0	0	
長期貸付金償還金	0	0	
固定資産売却代金	10	10	
諸収入	44,488	30,110	
(款) 資本的支出	2,660,166	7,485,552	
(項) 地域整備費	2,610,166	2,332,752	
企業債償還金	0	5,102,800	
予備費	50,000	50,000	
差 引	△ 2,615,668	△ 7,455,432	

資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金等で補填する。

合 計	△ 2,209,327	△ 7,134,629	
-----	-------------	-------------	--

令和6年度兵庫県企業資産運用事業会計予算原案

(収益的收入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和5年度当初予算額	令和6年度予算予定額	概 要 説 明
(款) 資産運用事業収益	1,343,250	1,360,861	I 業務の予定量 年間販売電力量 32,108,851kWh  II 予算の主なもの [収 入] 1 営業収益 太陽光発電売電収益 1,303,647 2 営業外収益 長期前受金戻入 17,390  [支 出] 1 営業費用 太陽光発電施設維持管理 601,071 減価償却費 520,832 2 営業外費用 消費税等 108,352
(項) 営業収益	1,308,890	1,303,647	
営業外収益	34,330	57,184	
特別利益	30	30	
(款) 資産運用事業費用	1,289,606	1,313,640	
(項) 営業費用	1,166,193	1,193,706	
営業外費用	113,383	109,904	
特別損失	30	30	
予備費	10,000	10,000	
差 引	(53,510) 53,644	(47,214) 47,221	

( )は税抜予定損益額を記載した。

(資本的收入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和5年度当初予算額	令和6年度予算予定額	概 要 説 明
(款) 資本的收入	205,322	205,322	I 予算の主なもの  [収 入] 1 長期貸付金償還金 工水会計貸付金償還金 205,302  [支 出] 1 建設改良費 固定資産購入費 59
(項) 長期貸付金償還金	205,302	205,302	
固定資産売却代金	10	10	
諸収入	10	10	
(款) 資本的支出	51,476	50,059	
(項) 建設改良費	1,476	59	
予備費	50,000	50,000	
差 引	153,846	155,263	

合 計	207,490	202,484	
-----	---------	---------	--

令和6年度兵庫県地域創生整備事業会計予算原案

(収益的収入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和5年度当初予算額	令和6年度予算予定額	概 要 説 明
(款) ひょうご小野産業団地整備 事業収益	20,032	314	I 予算の主なもの 【ひょうご小野産業団地整備事業】 [支 出] 1 営業費用 一般管理費 50,000  【神戸・鈴蘭台西健康福祉拠点整備事業】 [収 入] 1 営業収益 普通財産貸付料 696  [支 出] 1 営業費用 一般管理費 675
(項) 営業外収益	32	304	
特別利益	20,000	10	
(款) 神戸・鈴蘭台西健康福祉 拠点整備事業収益	716	716	
(項) 営業収益	696	696	
営業外収益	10	10	
特別利益	10	10	
計	20,748	1,030	
(款) ひょうご小野産業団地整備 事業費用	20,020	51,799	
(項) 営業費用	20,000	50,000	
営業外費用	10	1,789	
特別損失	10	10	
(款) 神戸・鈴蘭台西健康福祉 拠点整備事業費用	695	695	
(項) 営業費用	675	675	
営業外費用	10	10	
特別損失	10	10	
計	20,715	52,494	
差 引	(33) 33	(△51,464) △51,464	

( )は税抜予定損益額を記載した。

## (資本的収入及び支出)

(単位：千円)

科 目	令和5年度当初予算額	令和6年度予算予定額	概 要 説 明
(款) ひょうご小野産業団地整備事業資本的収入	10	0	I 予算の主なもの 【ひょうご小野産業団地整備事業】 〔支 出〕 1 企業債償還金 1,731,000  【神戸・三宮東再整備事業】] 〔支 出〕 1 整備費 100 調査検討費 100  【ひょうご情報公園都市第2期整備事業】 〔支 出〕 1 整備費 346,046 調査設計費 146,320 総係費
(項) 諸収入	10	0	
(款) 神戸・鈴蘭台西健康福祉拠点整備事業資本的収入	10	10	
(項) 固定資産売却代金	10	10	
(款) 神戸・三宮東再整備事業資本的収入	0	10	
(項) 諸収入	0	10	
(款) ひょうご情報公園都市第2期整備事業資本的収入	10	10	
(項) 諸収入	10	10	
計	30	30	
(款) ひょうご小野産業団地整備事業資本的支出	243,478	1,731,000	
(項) 整備費	64,778	0	
企業債償還金	178,700	1,731,000	
(款) 神戸・鈴蘭台西健康福祉拠点整備事業資本的支出	0	100	
(項) 整備費	0	100	
(款) 神戸・三宮東再整備事業資本的支出	100	100	
(項) 整備費	100	100	
(款) ひょうご情報公園都市第2期整備事業資本的支出	541,585	492,366	
(項) 整備費	541,585	492,366	
(款) 予備費	50,000	50,000	
(項) 予備費	50,000	50,000	
計	835,163	2,273,566	
差 引	△835,133	△ 2,273,536	
資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金等で補填する。			
合 計	△835,100	△ 2,325,000	